

仏心寺 お手紙掲示板（年末年始号）

「鶴の恩返し」は、人々に深い感動を与えています。

この民話は、英語、中国語、ロシア語などに翻訳され、海外でも広く知られています。

このような恩返しの話は、決まって「動物さえ受けた恩を忘れず恩返しをする。まして、人間において恩を忘れても良いのであろうか？」という「問いかけ」を含んだお話となっています。

私たち人間は、身近な人からだけ、恩を受けているのではなく、あらゆる人そして自然界や動植物からも、様々な恩を受けています。

「恩を知り、恩を感じ、恩に報いる。」

〳木村 宣彰先生〵

一年を振り返る言葉として、心に響いています。今年も引き続き宜しくお願ひいたします。

合掌

